

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 5月号



令和6年4月30日(水)

048(641)1214

048(641)6680(さわか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

歌声ひびく学校

校長 廣江 剛

桜の花びらも散り、若葉が鮮やかな季節になりました。右の写真のように、本校の玄関の横には「特色ある学校づくり 歴史を紡ぐ歌声ひびく大宮北中」という横断幕が掲げられ、横断幕の下には、校歌の歌詞が石碑に刻まれています。4月8日の入学式では、2・3年生による合唱「大切なもの」に迎えられて新入生が入場。その透き通った優しい歌声に新入生の表情も心なしかやわらかにみえました。さらに式の終盤では、混声四部合唱による伝統の校歌をアカペラで披露。「これが噂の…」話には聞いていましたが、実際の生歌をこの耳で聴いてみると、脈々と歌い継がれてきた伝統の匂い、北中生としての誇りのようなものを肌で感じました。「ああ、素敵な学校に来させてもらったな」というのが率直な感想です。きっと1年生も同じような思いでいるのではないかと推察します。

さて、素晴らしい入学式を終えると、私の頭の中では、大宮北中はなぜ「歌声ひびく」学校を目指すようになったのか。伝統の校歌はいつから混声四分合唱で歌われるようになったのか。気になって仕方がなくなりました。早速、音楽の平山先生に尋ねたところ、答えは生徒手帳の1ページ目にあると教わりました。



つくろう大宮北中ハーモニー (大宮北中憲章)

私たち大宮北中生は、現在、そして未来の大宮北中が、他に誇れる立派な学校でありつづけることを願って、この大宮北中憲章を定めました。この憲章は、昭和53から57年にかけて、全国の中学校が校内暴力という問題に頭を悩ませた時、我々の先輩が必死にそれと闘った精神を後世に残そうとするものです。私たちは、大宮北中生としての自覚と誇りを高く掲げ、この憲章の精神を実践していくことを、ここに誓う。

第1条 集中学習・活発授業

私たちは、授業に積極的に取り組み、自主的に学習します

第2条 君も私も大宮北中生、まじめにやろうお互いに

私たちは、校則を守り、規律正しい学校にします

第3条 受け継ごう、先輩たちの思いを

私たちは、協力して大宮北中の伝統を守っていきます

第4条 We are FRIENDS !

私たちは、大宮北中からいじめや差別をなくし、また、これからもつくらず、誰もが安心して生活できる学校にします

第5条 心をひとつに先輩、後輩

私たちは、協力して同好会や生徒会を活気あるものにしていきます

第6条 みんなでみんなを考えよう、みんなでみんなをよくしよう

私たちは、他人の立場を思いやり、クラス、学年、学校の和をつくります

第7条 礼儀正しく大宮北中生

私たちは、礼儀を忘れずに、元気なあいさつのあふれる学校にします

第8条 Green Clean 大宮北中

私たちは、清掃にきちんと取り組み、自然を大切にします

第9条 地域とつながる大宮北中

私たちは、地域と密接な交流を持ち、感謝の気持ちを持ちます

第10条 世界を見つめる大宮北中生

私たちは、世界につながる広い視野をもち、国際理解に努めます

第11条 「いのち」を大切にす大宮北中生

私たちは、かけがえのない「いのち」を自他ともに尊重し、大切さを伝えます

左記が生徒手帳1ページ目に掲載されている「つくろう大宮北中ハーモニー (大宮北中憲章)」です。当時の苦労と自分たちの学校をよい学校にしたいという先輩方の強い思いが伝わってきます。この憲章の制定は1984年6月15日であり、その後の周年行事で本校の卒業生である、あらい太朗氏に編曲を依頼し、混声四部合唱の校歌が誕生したそうです。既に知っている生徒も多いかと思いますが、こうした歴史的背景を理解した上で、伝統ある校歌を心を込めて歌いつないでいってくると嬉しいです。ちなみに、現在、漫画家でもあり音楽家でもあり、さいたま市の観光大使でもあるあらい太朗氏は、アロハ太朗というラジオネームでFM NACK 5のパーソナリティーを務めていらっしゃいます。私も以前から毎朝、太朗氏のラジオを聴きながら通勤をしています。